

青森山田 22連覇

2-1 野西あと一歩及ばず

全国高校サッカー

青森県大会

第97回全国高校サッカー選手権青森県大会決勝は17日、青森市の県総合運動公園陸上競技場で行われ、青森山田が2-1で八学野西を下して、22年連続24度目の優勝を果たした。青森山田は、12月30日に駒沢陸上

競技場(東京都)で開幕する全国高校選手権に出場する。

(向中野一樹、庄手鉄平)

▽決勝

青森山田 2-1 八学野西

▽得点 橋本、壇崎(青) 工藤拓

○

壇崎 動揺振り払う決勝弾

○…青森山田は主将壇崎が勝ち越し弾を決めた。後半に同点に追い付かれ、重苦しい展開だったが、壇崎は「決まった瞬間は頭が真っ白だったと喜びを爆発させた。先制したが、何度もオフサイドを取られ、相手の堅守に苦しんだ。攻撃がかみ合わないまま後半に入り、同点に追い付かれると選手たちには動揺が広がった。グラウンドで円陣を組み、切り替えよう」と鼓舞した壇崎。相手の攻撃に耐えながら好機をうかがい、勝利への執念の一発で仕留めた。優勝はしたものの、薄氷の勝利に「課題が多い」と黒田剛監督。壇崎も「攻撃を一からやり直す」と気を引き締めていた。



前半、ドリブルで切り込む八学野西の工藤拓人(14)

野西 組織的守備で王者苦しめる

○…終盤まで接戦を演じた八学野西。後半20分に体勢を崩しながらも同点弾を放ったMF工藤拓人は「思ったと次回大会への手」「相手選手をかわした瞬間 心えを語った。」「相手がゴールが見えた。絶対決 豊富な運動量と組織的な めるといふ強い気持ちで打 守備で、王者をあど一歩の った」と振り返った。とこ 工藤は前半20分から途中 勝はつかめなかった。主将 出場。後半にはチームが空 の館陸人は「試合を沸かせ 中戦を多く制し、有利な陣 形から攻撃を仕掛けること に勝ってほしい」と後輩に 夢を託した。